

三重県競技力向上対策本部

第7回競技力向上対策委員会



平成28年9月14日（水）

プラザ洞津 末広の間

三重県競技力向上対策本部
第7回競技力向上対策委員会 資料目次

○ 三重県競技力向上対策本部 第7回競技力向上対策委員会 会議次第	P 3
○ 説明・報告事項	
(報告事項1) 委員の変更	P 7
(報告事項2) 三重県競技力向上対策本部 会議等の開催経過	P 8
(報告事項3) 三重県競技力向上対策本部 第6回競技力向上対策委員会 概要	P 10
(報告事項4) 国民体育大会第37回東海ブロック大会 結果	P 12
(報告事項5) 平成28年度全国高等学校総合体育大会 結果	P 14
(報告事項6) 平成28年度全国中学校体育大会 結果	P 16
(報告事項7) 平成28年度競技力向上対策事業	P 17
・ トップジュニア育成事業	
・ 成年選手強化指定事業	
・ 女性アスリートタレント発掘・育成事業	
○ 協議事項	
・ 育成期における競技力向上対策事業の取組	P 35
○ 参考資料	
・ 三重県競技力向上対策委員会規程	P 55
・ 三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会名簿	P 57

三重県競技力向上対策本部
第7回競技力向上対策委員会 会議次第

平成28年9月14日(水)

プラザ洞津 末広の間

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告事項

(報告事項1) 委員の変更

(報告事項2) 三重県競技力向上対策本部 会議等の開催経過

(報告事項3) 三重県競技力向上対策本部 第6回競技力向上対策委員会 概要

(報告事項4) 国民体育大会第37回東海ブロック大会 結果

(報告事項5) 平成28年度全国高等学校総合体育大会 結果

(報告事項6) 平成28年度全国中学校体育大会 結果

(報告事項7) 平成28年度競技力向上対策事業

- ・ トップジュニア育成事業
- ・ 成年選手強化指定事業
- ・ 女性アスリートタレント発掘・育成事業

4 協議事項

- ・ 育成期における競技力向上対策事業の取組

5 閉 会

説明・報告事項

委員の変更

【委員】

選出区分	所属機関・団体・役職名	旧	新
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県体育協会 強化・ 普及委員長	沖田 稔	浦田 安
	三重県高等学校体育連盟 理事長	堀越 英範	藤田 隆司

三重県競技力向上対策本部 会議等の開催経過

年月日	内 容
平成23年 11月15日	県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。
平成24年 1月11日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定されました。
平成25年 5月29日	三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。
6月 3日	三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月13日	三重県競技力向上対策本部「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月16日	三重県競技力向上対策本部「第1回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成26年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月22日	三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。
10月 1日	三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月13日	三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成27年 3月19日	三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月23日	三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。

9月 4日	三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月4日	三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第3回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月25日	三重県競技力向上対策本部「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成28年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第4回本部会議」を開催しました。
7月20日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定されました。

三重県競技力向上対策本部

第6回競技力向上対策委員会 概要

平成28年3月24日

1 開会

2 あいさつ 三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員長 村木 輝行

3 説明・報告事項

- (1) 三重県競技力向上対策本部 会議等の開催経過
- (2) 三重県競技力向上対策本部 第5回競技力向上対策委員会の概要
- (3) 三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要
- (4) 第70回国民体育大会における総合成績
- (5) 平成27年度三重県競技力向上対策事業の実施報告及び成果について

4 審議事項

- (1) 三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画について
 - ・平成33年「三重とわか国体」における天皇杯・皇后杯獲得へ向けて、これまでの国体の開催県の実績と比較しても、本県の目標及び計画の設定は妥当なものと考えられる。
- (2) 平成28年度三重県競技力向上対策事業（案）について
※特に意見なし

5 協議事項

育成期における競技力向上の取組について

- (1) ターゲットエイジの育成・強化の取組について
 - ・平成28年度は三重とわか国体・少年種別のターゲットエイジが中学1年生になるが、すぐ全国大会で結果を出すことは難しいので、2年後に結果がでるようにしっかりと育成していく必要がある。
 - ・水泳、体操のように中学校の運動部ではなく、ジュニアクラブでの強化が中心となる競技において指定するクラブ数を増加させたことは有効である。
 - ・強化指定したジュニアクラブから強化指定した高校運動部につながるしくみを構築することで、成果が出やすいと考える。
 - ・中学校、高校の各世代における成長度合いに合わせたトレーニングをしないと、けがの原因にもなる。また、「チームみえジュニア」に指定されている将来有望な小中学生のジュニア選手を対象としたアンケートによると、週当たりの練習回数や練習時間が多い選手がいるという結果がでており、トレーニングの方法等のサポートが必要である。

(2) 成年選手の育成・強化について

- ・250名程度の就職支援をしていくということだが、県内に本社のある会社を中心に協力を依頼することが重要であるが、他県に本社がある会社にもアプローチを行ってもよいのではないかと。また、他県の状況をしっかりと分析する必要がある。
- ・競技団体としては、就職支援事業を有効に活用し、採用する人数、タイミング、練習場所等を考慮して戦略的に進めていく必要がある。また、選手の獲得が競技団体、企業ともにメリットのあるようにしなければならない。
- ・現在、選手を様々な会社で雇用してもらって選抜チームを運営しているが、同じチーム内の選手でも給料面や就業形態が違ったり、日本代表に選出されたことで、当初の契約より就業時間が短くせざるをえないなど、調整が必要となることがある。

(3) 女子アスリートサポートについて

- ・サポートをするための「調査・研究」は必要なことではあるが、現場へのフィードバック等に時間がかかる。国体が開催されることとは関係なく進めていく必要がある。
- ・相談窓口について、相談を受ける産婦人科医等と選手の意識や考え方にギャップがある。専門的な知識を持つ女性スタッフをチーム内で育成したり、そのようなスタッフを産婦人科医等と一緒に現場に派遣するしくみ等を検討してはどうか。
- ・女性タレント発掘事業については、中央競技団体や各教育委員会、県体育協会とどう連携をとっていくかが重要で、国の動きもしっかり把握して資金等も活用できるようにしていくべきである。

競技団体の戦略的な支援について

- ・平成28年度から競技団体のA～Dの自己評価がとりいれられることによって、積極的な取組につながっていくと感じる。特に「2～3年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う」とするC群をB群にあげていく取組を県と連携して計画する必要がある。
- ・国では競技団体に対して、JOCやJSCが5段階でランクをつけている。評価の内容はオリンピックや世界選手権等の結果や一貫指導システムの評価等を点数化している。三重県のA～Dの評価の内訳をさらに細分化すれば、競技団体にとって、評価を上げるための対策を考えやすくなるのではないかと。

(参考) 競技団体の区分

	評価の目安	取組
A群	安定して得点しており、平成33年まで引き続き得点が見込め、さらに上位入賞を狙うことができる競技、種別。	さらに上位入賞を狙うために必要な取組を支援します。
B群	国体で入賞レベルに達してきており、平成28年岩手国体で入賞を狙うことができる競技、種別。	確実に入賞するために必要な取組を支援します。
C群	本国体で入賞実績を有することもあるが、2～3年先に確実に入賞できるレベルに到達することを狙う競技、種別。	中長期の計画的な取組を支援します。
D群	未成熟で強化体制の整備を必要としており、主体的な強化に取り組めるようにする必要がある競技、種別。	主体的に強化が図れるよう、自立にむけた取組を支援します。

国民体育大会第37回東海ブロック大会 結果

<H28年度・愛知県開催>

○数字は通過順位を示す

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
1	水泳	少年男子	水球	11	2	1	3	4	2	①
		少年女子	シンクロ	2	2	2	①	②	—	3
2	サッカー	成年男子		15	1	2	3	①	3	①
		女子		15	1	2	3	①	3	①
3	テニス	少年男子		16	2	2	②	①	3	4
		成年男子		2	—	2	4	3	②	①
		成年女子		2	—	3	4	②	③	①
		少年女子		—	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
4	ボート	成年男子	舵手付フォア	6	2	2	①	3	②	4
		成年男子	ダブルスカル	—	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年男子	シングルスカル	1	2	2	②	4	3	①
		成年男子	舵手付クオドルプル	6	1	1	①	3	2	4
		成年女子	ダブルスカル	2	1	1	①	4	2	3
		成年女子	シングルスカル	1	2	2	①	②	3	4
		少年男子	舵手付クオドルプル	6	2	2	②	3	①	4
		少年男子	ダブルスカル	2	2	2	②	3	①	4
		少年男子	シングルスカル	1	2	2	①	3	②	4
		少年女子	舵手付クオドルプル	6	2	2	②	3	①	4
5	ホッケー	成年男子		18	1	1	3	2	①	3
		成年女子		18	1	1	2	3	①	3
		少年男子		18	1	1	3	2	①	3
		少年女子		18	1	1	2	3	①	—
		少年女子		18	1	1	2	3	①	—
6	ボクシング	成年男子		5	2	2	3	①	②	4
		成年女子		1	—	—	—	①	2	—
		少年男子		5	2	2	①	3	②	4
7	バレーボール	成年男子	6人制	12	1	1	3	①	2	3
		成年女子	6人制	12	1	1	①	3	2	3
		少年男子		12	2	2	②	3	4	①
		少年女子		12	2	2	①	②	3	4
8	体操	成年男子	競技	5	1	1	3	4	2	①
		成年女子	競技	5	1	1	①	2	3	4
		少年男子	競技	5	2	2	①	4	②	3
		少年男子	新体操	—	—	—	休止			
		少年女子	競技	5	3	2	①	②	3	4
9	バスケットボール	成年男子		12	1	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子		12	1	2	②	3	①	4
		少年男子		12	1	2	②	①	3	4
		少年女子		12	—	2	①	4	②	3
10	ウエイトリフティング	成年男子		9	3	3	②	4	③	①
		少年男子		—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
11	ハンドボール	成年男子		15	2	2	①	4	②	3
		成年女子		15	1	2	②	4	3	①
		少年男子		15	2	2	①	4	②	3
		少年女子		15	2	2	①	4	3	②
12	ソフトテニス	成年男子		5	—	1	4	3	2	①
		成年女子		—	2	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年男子		5	2	1	2	4	3	①
小計①				375	69	77	30	13	20	14

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
13	卓球	成年男子		2	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子		3	—	2	3	①	②	4
		少年男子		3	3	1	①	2	3	4
		少年女子		3	1	3	①	③	②	4
14	軟式野球	成年		15	2	2	②	①	3	4
15	馬術	※ 自馬競技		18	—	18	3	4	8	3
		少年 団体障害		17	1	1	3	4	2	①
16	フェンシング	成年男子		—	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子		4	1	2	3	4	①	②
		少年男子		4	1	1	3	4	①	2
17	柔道	成年女子		4	2	1	4	2	①	3
		成年男子		—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		3	2	1	2	①	3	4
		少年男子		5	1	1	①	2	4	3
18	ソフトボール	少年女子		3	1	1	①	2	4	3
		成年男子		15	1	1	①	2	3	3
		成年女子		16	1	1	①	2	3	3
		少年男子		16	1	1	2	①	3	3
19	バドミントン	少年女子		16	1	1	2	3	①	3
		成年男子		3	1	3	②	③	①	4
		成年女子		3	—	1	2	4	①	3
		少年男子		3	2	1	2	4	3	①
20	弓道	少年女子		1	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年男子		3	2	2	3	①	4	②
		成年女子		3	2	2	①	②	4	3
		少年男子		3	2	2	①	4	②	3
		少年女子		3	2	2	①	4	②	3
		成年男子	50m3×40M	1	2	2	3	①	②	4
		成年男子	50mP60M K20M	1	3	2	①	4	②	3
		成年男子	10m S60M・P60M	1	—	2	②	4	①	3
		成年男子	10m AP60M	1	1	1	2	①	4	3
		成年男子	CP60M CP30M	—	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
21	ライフル射撃	成年男子	50m3×20W P60W	1	2	2	②	3	①	—
		成年女子	10m S40W・P40W	2	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子	10m AP40W	1	1	1	2	①	3	4
		成年女子	BR S40W T60W	—	—	—	/ / / /			
		少年男子	10mS60JM	1	3	3	②	4	①	③
		少年男子	BR S60JM S30JM	2	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年男子	BP40JM	1	2	1	2	3	①	4
22	剣道	少年男子	10mS40JV	1	—	2	4	3	②	①
		少年女子	BRS40JW S20JM	1	2	2	3	4	①	②
		少年女子	BP40JV	1	1	1	2	3	①	4
		成年男子		—	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
23	ラグビーフットボール	成年女子		3	1	1	4	2	①	3
		少年男子		5	1	1	2	2	①	2
		少年女子		5	1	1	4	2	①	3
		成年男子 (7人制)		10	1	1	①	2	4	3
		女子 (7人制)		10	—	1	2	3	—	①
24	山岳	少年男子		23	1	1	①	3	3	2
		成年男子	リード・ボルダリング	—	—	—	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子	リード・ボルダリング	2	2	1	3	①	2	4
		少年男子	リード・ボルダリング	2	2	2	②	4	①	3
少年女子	リード・ボルダリング	2	1	1	3	4	①	2		
小計② (15馬術:自馬競技除く)				221	64	62	18	12	24	8

○数字は通過順位を示す

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	通過順位			
							愛知	静岡	岐阜	三重
25	カヌー	成年男子	K-1(カヤックS)	1	2	2	①	4	3	②
			C-1(カナデ(アン)S)	1	2	2	②	3	4	①
			スラローム	1	2	2	②	3	①	4
			ワイルドウォーター	1	2	2	—	②	①	—
			K-1(カヤックS)	1	2	2	②	①	3	4
		成年女子	スラローム	1	2	2	②	4	①	3
			ワイルドウォーター	1	1	1	3	2	①	—
			K-1(カヤックS)	1	3	3	①	③	4	②
			K-2(カヤックP)	2	1	1	①	2	4	3
			K-1(カヤックF)	1	1	1	—	—	—	—
		少年男子	C-1(カナデ(アン)S)	1	2	2	①	②	3	4
			C-2(カナデ(アン)P)	2	1	1	①	3	2	4
			K-1(カヤックS)	1	2	2	①	3	②	4
			K-2(カヤックP)	2	1	1	①	2	—	—
			K-1(カヤックF)	4	1	1	①	2	—	—
成年男子	スラローム	3	2	1	①	4	2	3		
	ワイルドウォーター	3	2	1	3	①	2	4		
	少年男子	3	1	2	①	②	3	4		
	少年女子	3	1	2	4	②	①	3		
	成年男子	3	2	1	①	4	2	3		
26	アーチェリー	成年女子	スラローム	3	2	1	3	①	2	4
			少年男子	3	1	2	①	②	3	4
			少年女子	3	1	2	4	②	①	3
			成年男子	3	2	1	①	4	2	3
			成年女子	3	2	1	3	①	2	4
27	空手道	成年男子	組手(個人・団体)	1	2	3	②	③	①	4
			形	1	2	2	3	②	①	4
			成年女子	1	2	2	3	②	①	4
			少年男子	1	2	3	③	①	②	4
			少年女子	1	2	2	①	②	3	4
28	銃剣道	成年男子	1	1	—	—	—	—	—	
		少年男子	1	1	—	—	—	—	—	
29	クレー射撃	トラップ	6	3	3	②	①	③	4	
		スキート	6	3	3	②	①	③	4	
30	なぎなた	成年女子	3	3	3	①	4	③	②	
		少年女子	3	3	3	①	4	③	②	
31	ボウリング	成年男子	4	2	2	3	①	②	4	
		成年女子	4	2	2	4	3	①	②	
		少年男子	2	3	3	②	③	4	①	
		少年女子	2	3	3	①	②	4	③	
32	ゴルフ	成年男子	3	2	2	①	4	3	②	
		少年男子	3	2	2	①	4	3	②	
小計③				60	55	58	22	15	13	8
合計(①+②+③)				656	188	197	70	40	57	30

※東海大会を実施しない競技→水泳(競泳、飛込)、陸上、セーリング、レスリング、自転車、相撲、トライアスロン

(注1) 各県欄の数字は順位。○数字が代表権獲得県。

(注2) 15 馬術：自馬競技は、団体への出場選手数を代表数として計算。

※15 馬術： 自馬競技代表数内訳	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
成年男子 代表数	7	1	2	3	1
成年女子 代表数	5	1	1	2	1
少年 代表数	6	1	1	3	1
小計	18	3	4	8	3

総計 (合計+※15 馬術)	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
	215	73	44	65	33

【通過数及び出場枠占有率】

	1位(突破率)	2位(突破率)	3位(突破率)	合計(突破率)
愛知県	45 38%	24 36%	1 8%	70 36%
静岡県	21 18%	14 21%	5 42%	40 20%
岐阜県	33 28%	20 30%	4 33%	57 29%
三重県	19 16%	9 13%	2 17%	30 15%
合計	197種別 (馬術：自馬競技の4県枠除く)			

【通過数の内訳】

	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
愛知県	①通過 7 ②通過 9 16 31% ③通過 0	7 5 12 29% 8 23 43% 1	14 8 23 43% 1	17 2 19 39% 0
静岡県	①通過 9 ②通過 1 12 23% ③通過 2	8 4 12 29% 0	4 2 8 15% 2	0 7 8 16% 1
岐阜県	①通過 6 ②通過 7 15 29% ③通過 2	10 1 12 29% 1	8 6 14 26% 0	9 6 16 33% 1
三重県	①通過 7 ②通過 2 9 17% ③通過 0	4 2 6 14% 0	6 2 9 17% 1	1 3 6 12% 1
合計	52	42	54	49

※平成20年 第29回大会から馬術(少年)団体障害をカウントに含む。

団体(ブロック予選)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	通過枠合計
平成28年 岩手県(第37回 予選通過)	70種目(35.5%)	40種目(20.3%)	57種目(28.9%)	30種目(15.2%)	197種目
平成27年 和歌山県(第36回 予選通過)	69種目(36.7%)	38種目(20.2%)	51種目(27.1%)	30種目(16.0%)	188種目
平成26年 長崎県(第35回 予選通過)	68種目(36.0%)	36種目(19.0%)	61種目(32.3%)	24種目(12.7%)	189種目
平成25年 東京都(第34回 予選通過)	66種目(35.3%)	39種目(20.9%)	60種目(32.1%)	22種目(11.8%)	187種目
平成24年 岐阜県(第33回 予選通過)	75種目(49.3%)	48種目(31.6%)	開催県(全種別参加)	29種目(19.1%)	152種目
平成23年 山口県(第32回 予選通過)	68種目(35.2%)	34種目(17.6%)	63種目(32.6%)	28種目(14.5%)	193種目
平成22年 千葉県(第31回 予選通過)	62種目(33.0%)	43種目(22.9%)	61種目(32.4%)	22種目(11.7%)	188種目
平成21年 新潟県(第30回 予選通過)	67種目(35.4%)	39種目(20.6%)	62種目(32.8%)	21種目(11.1%)	189種目
平成20年 大分県(第29回 予選通過)	70種目(36.5%)	45種目(23.4%)	52種目(27.1%)	25種目(13.0%)	192種目
平成19年 秋田県(第28回 予選通過)	64種目(37.2%)	44種目(25.6%)	41種目(23.8%)	23種目(13.4%)	172種目
平成18年 兵庫県(第27回 予選通過)	69種目(38.1%)	47種目(26.0%)	42種目(23.2%)	23種目(12.7%)	181種目

平成28年度全国高等学校総合体育大会 結果

場 所：岡山県・鳥取県・島根県・広島県・山口県・和歌山県
 期 間：7月28日（金）～8月20日（土）

団体

	競技種目	性別	種別	学校	指導者
1	3位 陸上競技	男子	トラック競技 学校対抗	伊賀白鳳	中武準一
2	4位 陸上競技	男子	学校対抗	伊賀白鳳	中武準一
3	5位 登山	男子	団体	神戸	岸田誠司
4	5位 自転車	男子	チーム スプリント	暁	服部正忠
5	5位 ソフトテニス	男子	団体	三重	玉川裕司
6	5位 ソフトテニス	女子	団体	三重	神崎公宏
7	8位 弓道	男子	団体	松阪工業	栩原洋
8	ベスト8 レスリング	男子	団体	いなべ総合学園	藤波俊一
9	ベスト8 テニス	男子	団体	四日市工業	徳丸真史
10	ベスト8 テニス	女子	団体	四日市商業	金山敦思

※種目別大会実施要項により、表彰の対象になっているものについては「○位」と、
 表彰の対象外ではあるが、準々決勝に進出したものについては、「ベスト8」と表記しています。

個人

	競技種目	性別	種別	学校	名前	指導者
1	優勝	体操	男子	跳馬	暁	首藤 鴻英 齋藤 俊
2	優勝	ウエイトリフティング	男子	+105kg級 スナッチ	四日市工業	横山 太偉雅
3	優勝	ウエイトリフティング	男子	+105kg級 C&J	四日市工業	横山 太偉雅 宮崎 彰也
4	優勝	ウエイトリフティング	男子	+105kg級 トータル	四日市工業	横山 太偉雅
5	2位	体操 (新体操)	男子	個人	高田	堀 孝輔
6	2位	体操 (新体操)	男子	リング	高田	堀 孝輔 山崎 和俊
7	2位	体操 (新体操)	男子	口一歩	高田	堀 孝輔
8	2位	ウエイトリフティング	男子	77kg級 スナッチ	亀山	柳川 友章
9	2位	ウエイトリフティング	男子	77kg級 C&J	亀山	柳川 友章 石井 伸子
10	2位	ウエイトリフティング	男子	77kg級 トータル	亀山	柳川 友章
11	2位	陸上競技	男子	5000m競歩	伊賀白鳳	成岡 大輝 中武 隼一
12	3位	水泳	男子	200mバタフライ	三重	阪本 祐也
13	3位	レスリング	男子	66kg級	いなべ総合学園	基山 仁太郎 藤波 俊一
14	3位	ソフトテニス	男子	ダブルス	三重	田邊・内田 玉川 裕司
15	3位	自転車	トラック	1kmタイムトライアル	暁	五味 大征 服部 正忠
16	4位	水泳	男子	100mバタフライ	三重	阪本 祐也
17	4位	フェンシング	男子	サーブル	海星	柏木 慈理 日向 和義
18	4位	陸上競技	男子	3000m障害	伊賀白鳳	田辺 佑典 中武 隼一
19	4位	陸上競技	男子	5000m競歩	伊賀白鳳	坂崎 翔
20	4位	陸上競技	女子	円盤投	松阪商業	藤原 千春 山本 浩武
21	5位	体操	男子	鉄棒	暁	首藤 鴻英 齋藤 俊
22	5位	柔道	男子	73kg級	名張	橋本 静綺 稲澤 真人
23	5位	柔道	男子	100kg級	四日市中央工業	山口 陸人 弓矢 竜太
24	5位	柔道	女子	70kg級	名張	石井 咲帆 宮下 豊
25	6位	陸上競技	男子	三段跳	近畿大学工業 高等専門学校	河出 壱貫 松尾 大介
26	6位	水泳	男子	1500m自由形	尾鷲	山本 健志 芝原 一平
27	6位	ウエイトリフティング	男子	53kg級 C&J	四日市工業	稲沢 拓海 宮崎 彰也
28	6位	ウエイトリフティング	男子	69kg級 C&J	四日市中央工業	駒田 雅希 森 浩之
29	6位	ウエイトリフティング	男子	69kg級 トータル	四日市中央工業	駒田 雅希
30	7位	陸上競技	女子	走高跳	松阪商業	豊田 舞奈 山本 浩武
31	7位	陸上競技	男子	5000m	伊賀白鳳	塩澤 稀夕 中武 隼一
32	7位	陸上競技	男子	1000m	鈴鹿工業 高等専門学校	中脇 裕也 船越 一彦
33	7位	水泳	男子	400m自由形	尾鷲	山本 健志 芝原 一平
34	8位	ウエイトリフティング	男子	69kg級 スナッチ	四日市中央工業	駒田 雅希 森 浩之
35	8位	陸上競技	男子	4×100mR	宇治山田商業	小見山・樋口 川端・阪口
36	8位	陸上競技	男子	円盤投	宇治山田商業	中村 京平 小池 弘文
37	ベスト8	テニス	女子	シングルス	四日市商業	吉岡 希紗 金山 敦思
38	ベスト8	ボクシング	男子	ライトフライ級	久居	宇津 輝 片山 太一郎
39	ベスト8	レスリング	男子	84kg級	いなべ総合学園	横山 凜太郎 藤波 俊一

※種目別大会実施要項により、表彰の対象になっているものについては「○位」と、
表彰の対象外ではあるが、準々決勝に進出したものについては、「ベスト8」と表記しています。

平成28年度全国中学校体育大会 結果

場 所：新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県

期 間：8月17日（水）～25日（木）

団体

	順位	競技種目	性別	種別	学校
1	5位	バレーボール	男子	団体	大山田
2	5位	ハンドボール	女子	団体	西笹川

個人

	順位	競技種目	性別	種別	名前	学校
1	優勝	陸上競技	男子	走幅跳	藤本大輝	一身田
2	優勝	水泳（競泳）	男子	100m平泳ぎ	谷口卓	三滝
3	優勝	水泳（競泳）	男子	200m平泳ぎ	谷口卓	三滝
4	3位	陸上競技	男子	棒高跳	白井颯斗	玉城
5	3位	陸上競技	女子	四種競技	伊藤桃子	陵成
6	3位	柔道	男子	66kg	中村将大	三雲
7	5位	陸上競技	女子	四種競技	濱口紀子	紀北
8	5位	柔道	女子	52kg	大西亜虹	三雲
9	5位	体操競技	男子	ゆか	長崎奏人	崇広
10	5位	テニス	男子	ダブルス	永井・石川	海星
11	7位	陸上競技	女子	砲丸投	床辺彩乃	多気
12	8位	陸上競技	女子	走高跳	大門あい	厚生

平成28年度競技力向上対策事業

	事業名	取組の柱	取組内容
①	ジュニア選手発掘事業	ジュニア・少年選手	スポーツ体験会、育成プログラム、教育プログラムを実施し、新たなジュニア選手を発掘。
②	チームみえジュニア育成事業		競技団体が行うジュニア選手の育成活動を支援。
③	チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業		活躍が期待されるジュニア選手を「チームみえジュニア」として指定するとともに、指導者への研修会を実施。
④	ジュニアクラブ強化指定事業		全国大会での活躍が期待される中学生が所属するジュニアクラブを強化指定し、強化活動を支援。
⑤	中学校運動部強化指定事業		全国大会での活躍が期待される中学校運動部を強化指定し、強化活動を支援。
⑥	中学生H30インターハイ強化事業		平成30年度全国高等学校総合体育大会に向け、県内トップレベルの中学校運動部の強化活動を支援。
⑦	高等学校運動部強化指定事業		全国大会での活躍が期待される高等学校運動部を強化指定し、強化活動を支援。
⑧	高校生H30インターハイ強化事業		平成30年度全国高等学校総合体育大会に向け、県内トップレベルの高等学校運動部の強化活動を支援。
⑨	トップジュニア育成事業		世界大会等で活躍が期待されるジュニア選手を「チームみえスーパージュニア」として指定し、強化活動を支援。
⑩	チームみえ国体選手強化事業	少年・成年選手共通	岩手国体での天皇杯順位10位台、総合得点1,100点の獲得に向け、入賞が期待される競技団体の強化活動を支援。
⑪	トップ選手育成支援事業		競技団体が行う年間を通じた選手の強化活動や競技の普及活動等を支援。
⑫	女性アスリートサポート事業		女性アスリートが抱える諸課題について、指導者の知識習得や意識向上を図るとともに、サポート体制を構築。
⑬	女性アスリートタレント発掘事業		優れた資質のある女子ジュニア選手を発掘し、教育プログラムや専門プログラムを実施し、世界大会で活躍する選手を育成。
⑭	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	全国大会で活躍が期待される大学運動部、企業・クラブチームを強化指定し、強化活動を支援。
⑮	成年選手強化指定事業		世界大会で活躍が期待される成年選手を強化指定し、強化活動を支援。
⑯	スポーツ指導員配置事業		ジュニア・少年選手の競技力向上及び指導者の資質向上を図るため、トップアスリートを指導者として配置。
⑰	トップアスリート就職支援事業		全国大会で活躍するトップアスリートに対し、県内企業への就職支援を実施。
⑱	チームみえ指導者研修事業	指導者	三重県代表チームを指導する監督、コーチ、スタッフへの研修会を実施。
⑲	強化指定運動部、チーム指導者研修事業		指導者の資質向上に向け、強化指定した運動部・チームの指導者への研修会を実施。
⑳	公認スポーツ指導者養成事業		指導者の資質向上に向け、公認スポーツ指導者資格の取得を促進。
㉑	特別コーチ派遣事業		競技力向上に向け、優れた指導者やオリンピック選手を年間コーチ、ワンポイントコーチとして競技団体の強化活動に派遣。
㉒	環境整備補助事業	環境整備	競技力向上に向け、強化活動に必要な特殊用具備品を整備。
㉓	医・科学スタッフ派遣事業		競技力向上に向け、競技団体が実施する強化活動に医・科学スタッフを派遣。
㉔	みえのアスリート応援・発信事業	づくりみ	三重県代表選手を紹介する広報誌の発行及び三重県選手団のポロシャツの作成。

:平成28年度新規事業

トップジュニア育成事業 実施方針

平成28年度当初予算【3,000千円】

1 目的

県民の皆さんからの寄附金を財源として、全国大会等で優秀な成績を収め、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待されるジュニア選手を対象に、強化活動を支援することにより、選手の育成・強化を図る。

2 対象

将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待される本県の中学生及び高校生とする。

3 実施内容

(1) 強化選手の指定

三重県競技力向上対策本部長（知事）は、競技団体の推薦を受けて、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待される本県の中学生及び高校生を強化指定する。

(2) 補助対象

強化指定選手に対しては、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、県外遠征等の旅費、宿泊費、消耗品費、使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が強化活動に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

4月から随時	寄附金の募集
5月	第1次強化指定選手の推薦・選定
6月上旬	第1次強化指定選手の決定
9月	第2次強化指定選手の推薦・選定
10月上旬	第2次強化指定選手の決定

トップジュニア育成事業 推薦要領

1 対象

国民体育大会やオリンピックの正式種目で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる県内中学校および高等学校に在籍する選手とする。

2 推薦基準

全国大会で優秀な成績を収め、今後も全国大会や国際大会などの大規模な大会において活躍が期待され、次の基準を満たしている選手とする。

- (1) 平成27年度もしくは28年度の全国大会*¹で優勝、または、平成27年度の国際大会*²で3位入賞以上の実績があり、平成28年度に日本代表として国際大会*²への出場が決定（内定）している。
- (2) 団体競技にあっては、平成28年度に日本代表として、国際大会*²に出場するなど、顕著な活躍が見られる選手も対象とする。
- (3) この他、平成28年度に特に顕著な実績を収めた選手がいる場合は、三重県競技力向上対策本部が別途指定する。

- | | | |
|----------|------------------------------|------------------------------|
| { | * 1 全国大会 | ① 国民体育大会 |
| | | ② 全国中学校体育大会、ジュニアオリンピック |
| | | ③ 全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選抜選手権大会 |
| | | ④ ①・②・③と同じ競技レベルと認められる大会 |
| * 2 国際大会 | ① 世界ジュニア・ユース大会、アジアジュニア・ユース大会 | |
| | ② ①と同じ競技レベルと認められる大会 | |

3 推薦方法

- (1) 各競技団体は、上記2の推薦基準を満たすと判断できる場合、三重県競技力向上対策本部に対象となる選手を推薦することができる。
- (2) 県内に競技団体がないオリンピック正式種目のうち、上記2の推薦基準を満たすと判断できる場合は、所属する団体（クラブチーム等）より、三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。

4 その他

指定選手の選考については、各競技団体等の推薦があった選手をもとに、競技実績・活動状況等により、三重県競技力向上対策委員会で行う。

平成28年度「チームみえスーパージュニア」指定選手

	名前	学年	競技種目	所属
1	谷口 卓	3	水泳競技(競泳)	四日市市立三滝中学校
2	阪本 祐也	2	水泳競技(競泳)	三重高等学校
3	宇戸平莞爾	3	レスリング	津市立久居中学校
4	基山仁太郎	2	レスリング	いなべ総合学園高等学校
5	稲垣 柚香	3	レスリング	津市立一志中学校
6	奥野 春菜	3	レスリング	久居高等学校
7	横山太偉雅	2	ウエトリフティング	四日市工業高等学校
8	柳川 友章	3	ウエトリフティング	亀山高等学校
9	田嶋あいか	3	山岳	津高等学校

平成28年度9月14日現在

成年選手強化指定事業 実施方針

平成28年度予算【1,500千円】

1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、平成33年の「三重とわか国体」に向けた成年選手の競技力向上を計画的に推進することを目的とする。

2 対象

平成33年の「三重とわか国体」における正式競技に取り組んでいる大学生及び社会人で、次に掲げる条件を満たす者とする。

- ① 「チームみえ」の一員として、平成33年の「三重とわか国体」での活躍が特に期待される者
- ② 東京オリンピック競技大会や世界選手権大会での活躍が期待される者

ただし、東京オリンピック競技大会の正式競技以外の競技に取り組んでいる選手については、条件①のみを満たすこととする。

3 実施内容

- (1) 強化指定選手の決定については、別途定める「成年選手強化指定事業 選考要領」において、三重県競技力向上対策本部が行う。
- (2) 指定期間については、平成28年4月から平成29年3月までの単年度指定とする。
- (3) 補助対象については、全国・国際スポーツ大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、施設使用料、強化練習の一貫として参加する大会参加料、消耗品費、医科学スタッフ、技術指導スタッフ等の経費の支援を予算の範囲内で行う。

4 年間計画

- 4月 強化指定選手の選考及び決定
- 随時 強化活動支援
- 10月 第71回国民体育大会出場

成年選手強化指定事業 選考要領

1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「成年選手強化指定事業」に係る強化指定選手を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

2 選考委員等

- (1) 選考委員は、三重県競技力向上対策委員会の委員とする。
- (2) 選考の事務局は、三重県競技力向上対策本部内に設置する。
- (3) 選考の依頼は、三重県競技力向上対策本部事務局長が行う。

3 選考基準

選考は、「成年選手強化指定事業実施方針」の目的及び対象を踏まえることとし、選考にあたっては、次の点に留意するものとする。

なお、大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業の指定チームに所属する者、スポーツ指導員配置事業の指導員、勤務している企業から強化費の支援を受けている者については対象外とする。

【指定枠Ⅰ】

平成27年度に開催された全日本選手権大会において3位以上の成績を収めた者で、三重県代表選手の一員として第71回国民体育大会以降の大会において入賞が見込める者。

【指定枠Ⅱ】

全国高等学校総合体育大会及び国民体育大会において優勝した者で、三重県代表選手の一員として第71回国民体育大会以降の大会において入賞が見込める者。

4 選考方法

選考委員は、強化指定候補選手について、平成33年の「三重とこわか国体」や東京オリンピック競技大会での活躍が期待される強化指定候補選手の実績や今後の期待度を総合的に判断し、選考を行うこととする。

なお、決定には、選考委員の過半数の同意を必要とする。

平成28年度成年選手強化指定事業指定選手

	名前	学年	競技種目	所属
1	山田 優	4	フェンシング	日本大学
2	藤波 勇飛	2	レスリング	山梨学院大学
3	石井 未来	1	ウエイトリフティング	東京国際大学
4	川村 正輝	1	ウエイトリフティング	日本大学
5	城山 聖羅	1	相撲	東洋大学

女性アスリートタレント発掘・育成事業 実施方針

平成28年度当初予算【6,002千円】

1 目的

優れた資質あるジュニア世代の女子タレントの発掘を行い、教育プログラムや専門プログラム等を実施することで、ワールドクラスの競技力を獲得し、将来国民体育大会をはじめ国際大会で活躍するとともに、その経験を生かし、確固たる考え方、行動力を持ったリーダーの育成を図ることを目的とする。

2 対象（競技）

第71回岩手国体以降の女子種別において、新たに正式種目になる競技のうちの1競技とする。

3 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部が日本スポーツ振興センター（JSC）、中央競技団体（NF）、県競技団体（PF）、高等教育機関等と連携して運営委員会、並びにタレントの選考に係る選考委員会、各種プログラム内容の検討を行うプログラム委員会を立ち上げる。
- (2) 運営委員会にて事業内容、計画等の決定を行う。
- (3) 選考委員会にてオーディションの実施内容、タレントの選考を行う。
- (4) プログラム委員会にてタレントに対して実施する内容の検討を行う。
- (5) 実施競技団体は事務局と連携し、主体的に事業を実施する。

4 年間計画

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 5月 | 各種委員会の設立、オーディション、プログラムの内容検討 |
| 8月以降 | オーディション実施 |
| 12月 | 指定証交付式 |
| 12月以降 | プログラム開始 |

女性アスリートタレント発掘・育成事業 進捗状況

1 進捗報告

	年月日	会議名	主な決定事項及び検討内容
①	平成28年3月24日	第6回競技力向上対策委員会	新種目の普及・育成が競技力向上対策基本方針における各期間の目標と取組として決定
②	平成28年4月18日	第4回本部会議	事業実施の決定
③	平成28年6月6日	第1回運営委員会	事業の実施に関して、計画内容全般を検討する運営委員会を組織するとともに、タレントの選考について検討する選考部会、育成プログラムについて検討するプログラム部会を設置 女子ラグビーフットボールに特化した取組として着手
④	平成28年6月29日	第1回プログラム部会	プログラム部会を組織し、内容の構築に着手
⑤	平成28年8月23日	第1回選考部会	選考部会を組織し、タレントの選考に関するオーディションの準備実施
⑥	平成28年8月28日	1次オーディション	1次オーディションの実施
⑦	平成28年9月15日	第7回競技力向上対策委員会	進捗状況の報告

2 今後の計画

	年月日	会議名	主な計画
⑧	平成28年9月中旬	第2回選考部会	1次オーディションの通過者案の作成
⑨	平成28年9月27日	第2回プログラム部会	教育・育成プログラムのカリキュラム内容の検討
⑩	平成28年9月27日	第2回運営委員会	1次オーディション通過者決定 2次オーディション詳細決定 教育・育成プログラムのカリキュラム内容の協議
⑪	平成28年11月上旬	第3回選考部会	2次オーディションの準備
⑫	平成28年11月13日	2次オーディション	2次オーディションの実施
⑬	平成28年11月下旬	第4回選考部会	2次オーディション通過者案の作成
⑭	平成28年11月下旬	第3回プログラム部会	教育・育成プログラムの年間計画、担当者の検討
⑮	平成28年11月下旬	第3回運営委員会	2次オーディション通過者の決定 教育・育成プログラムの年間計画、担当者の協議
⑯	平成28年12月下旬	指定証交付式	通過者をM I Eスーパー☆（スター）ガールに指定
⑰	平成29年1月以降		各プログラムの実施

女性アスリートタレント発掘・育成事業運営委員会 設置要綱

(設置)

第1条 この要綱は、三重県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の女性アスリートタレント発掘・育成事業実施方針に基づき、事業を総合的かつ計画的に運営するため、女性アスリートタレント発掘・育成事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。

(業務)

第2条 運営委員会は女性アスリートタレント発掘・育成事業の内容および計画等を決定する。

(運営委員会の構成)

第3条 運営委員会は、委員長および委員をもって構成する。

2 委員長は対策本部事務局長をもって充てる。

3 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、本部長が委嘱する。

(1) 県関係者

(2) 市町関係者

(3) スポーツ団体関係者

(4) 学識経験者

(5) 競技団体関係者

4 オブザーバーとして日本スポーツ振興センター事業担当者をおく。

(委員長の職務)

第4条 委員長は、運営委員会を総括する。

2 委員長に事故あるときは、委員の互選により選出された者が代理する。

(会議)

第5条 運営委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席を求めることができる。

(部会)

第6条 事業の運営にあたり、プログラムの作成及び実施に関するプログラム部会、オーディション及びタレントの選考に関する選考部会をそれぞれ設置することができる。

(事務局)

第7条 運営委員会の事務局は、対策本部事務局に置く。

(機密の保持)

第8条 運営委員会に出席した者は、職務上知りえた秘密を漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(進捗)

第9条 運営委員会の進捗については、三重県競技力向上対策委員会にて報告を行う。

(要綱に定めのない事項)

第10条 この要綱に定めるもののほか、運営委員会の運営に関する必要な事項は、委員長が定める。

附則

1 この要綱は、平成28年4月18日から施行する。

女性アスリートタレント発掘・育成事業に係る組織体制

運営委員会

・事業計画にかかる内容の検討および決定

選考部会

・1次、2次オーディション内容の検討
・タレント選考と決定

プログラム部会

・育成・教育プログラム等の内容の検討と決定
・専門プログラムの内容の検討と決定

運営委員会

委員長:1名

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県関係	三重県地域連携部スポーツ推進局 次長	高間 伸夫

委員:9名

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県関係	三重県地域連携部 競技力向上推進監	岩出 卓
市町関係	四日市市教育委員会スポーツ課 参事兼課長	川森 信弥
学校関係	三重県教育委員会保健体育課 課長	野垣内 靖
スポーツ関係団体関係	公益財団法人三重県体育協会 強化普及委員長	沖田 稔
学識経験者	三重大学 教授	杉田 正明
	仙台大学 教授	粟木 一博
	大阪体育大学 教授	土屋 裕睦
競技団体	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 女子TIDマネージャー	稲田 仁
	三重県ラグビーフットボール協会 理事長	上野 晋

プログラム部会

部長:1名

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県関係	三重県地域連携部スポーツ推進局スポーツ推進課班長	東浦 宏幸

委員:7名

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
競技団体	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 女子TIDマネージャー	稲田 仁
育成プログラム指導者	仙台大学 教授	粟木 一博
	大阪体育大学 教授	土屋 裕睦
	三重大学 教授	小川 朋子
専門プログラム指導者	三重県ラグビーフットボール協会 強化部長	斎藤 久
	三重県ラグビーフットボール協会	伊藤 絵美
	三重県ラグビーフットボール協会	伊藤 栄紀

選考部会

部長:1名

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
県関係	三重県地域連携部スポーツ推進局スポーツ推進課班長	東浦 宏幸

委員:5名

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
教育関係	三重県教育委員会保健体育課学校体育班主幹	奥山 真司
競技団体	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 女子TIDマネージャー	稲田 仁
	三重県ラグビーフットボール協会 強化部長	斎藤 久
	三重県ラグビーフットボール協会	伊藤 絵美
	三重県ラグビーフットボール協会	伊藤 栄紀

オブザーバー

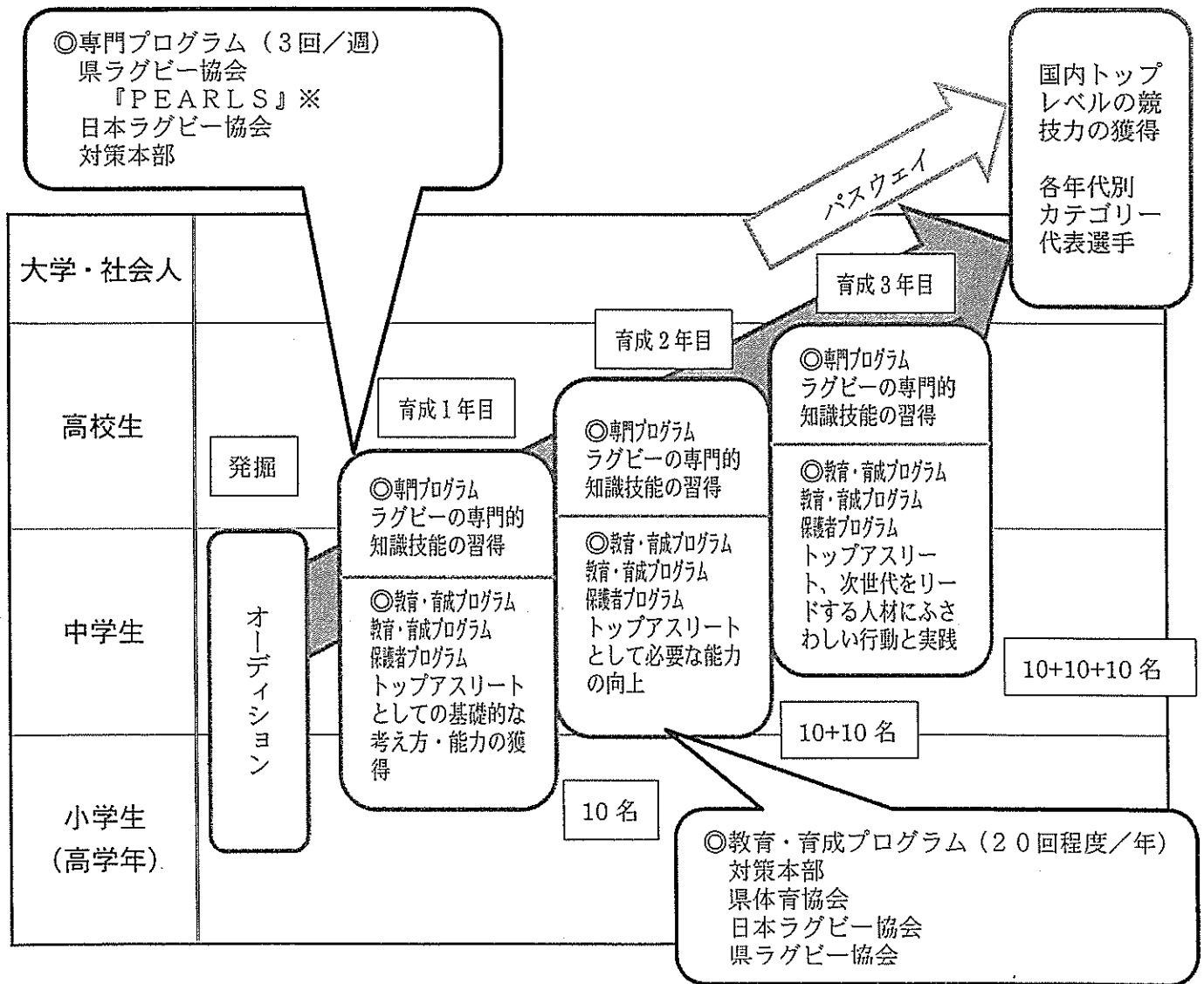
1名

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
学識経験者	日本スポーツ振興センター(JSC)事業担当者	事業担当者

本県における女性アスリートタレント発掘・育成事業について

三重県内の優れた資質を有する女子小中学生を発掘し、様々なプログラムを通じて育成することで、国民体育大会をはじめとした国内大会やオリンピック、ワールドカップなどの国際大会において活躍することができるアスリートの輩出を目的とします。

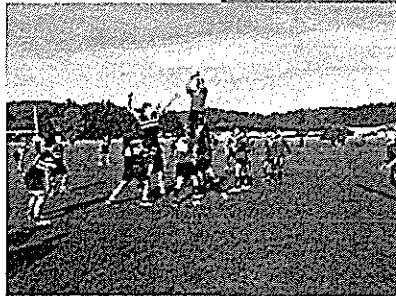
また、トップアスリートに必要な資質である高い意識や行動力を培うことで、社会生活の様々な場面でリーダーとして活躍できる人材を育成します。



※PEARLSとは

三重県ラグビーフットボール協会が、2021年三重とこわか国体での優勝と「From MIE to the WORLD」をスローガンに、平成28年4月に設立したクラブチーム。

国内外のトップレベルの大会での活躍



○海外研修プログラム
海外トレーニングキャンプへの参加
(想定) ニュージーランド等のラグビー強豪国



○専門プログラム
日本ラグビーフットボール協会や三重県ラグビーフットボール協会によるトップレベルのコーチや日本を代表する選手が、専門的な技術指導を行います。



日本スポーツ振興センターや大学関係者等が最先端のプログラムを実施します。

○教育プログラム
トップ選手に必要な知識や態度を身につけます。

○育成プログラム
走投跳といった基本動作やコーディネーション能力といった身体能力を総合的に高めます。

○保護者プログラム
アスリートを支えるための栄養やリカバリーといったサポート知識を学びます。

○その他
他の地域タレントとの交流を行います。

スーパー☆ガール

M I Eスーパー☆プロジェクト 1次オーディション

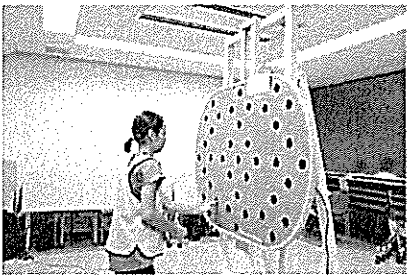
日時 平成28年8月28日(日)
場所 四日市ドーム

1 開始式



2 オーディション

①スープリュームビジョン



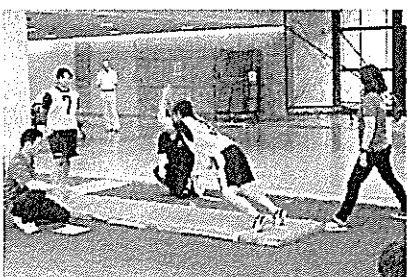
②ボール投げ



③50m走



④立ち幅跳び



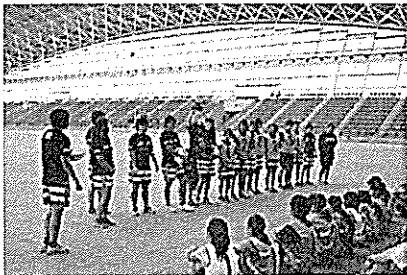
⑤10m走



⑥反復横跳び



3 デモンストレーション



協議事項

育成期における競技力向上対策事業の取組

三重県競技力向上対策本部では、平成25年5月に三重県競技力向上対策基本方針（以下、「基本方針」とする）を策定し、平成33年の「三重とこわか国体」に向けて、計画的かつ総合的に取組を進めているところです。

基本方針では、平成25年から平成27年までの3年間を基盤・体制づくり期とし、国民体育大会における総合得点900～1,000点、天皇杯順位20位台の確保を目指して取り組んできました（資料1）。

その結果、天皇杯順位・皇后杯順位ともに順位を上げ、平成27年の「2015紀の国わかやま国体」では総合得点918点、天皇杯順位27位と目標を達成することができました（資料2～4）。

その一方で、競技得点を種別毎にみると、成年男子・少年男子は順調に伸ばしているものの、成年女子・少年女子は安定して得点を残すことができていない等の課題もあります（資料5）。

つきましては、基盤・体制づくり期における取組の課題を明らかにし、育成期の取組に活かしていくため、次の項目について検証を行う必要があります。

育成期における競技力向上のための課題

①ジュニア選手及び少年選手の発掘・育成・強化（資料5・6）

- ・国民体育大会の少年女子種別で安定した成績を残すことができない。
 - 団体競技における競技得点が安定しない。
 - 個人競技における競技得点が低位である。
- ・全国大会における入賞数が停滞している。
 - 全国大会での活躍が期待される運動部の入賞数が停滞している。
 - 育成期での活躍が期待される運動部の取組が遅れている。

課題

- ⇒強化指定運動部に対する強化支援の方法
- ⇒指導者の資質向上への取組

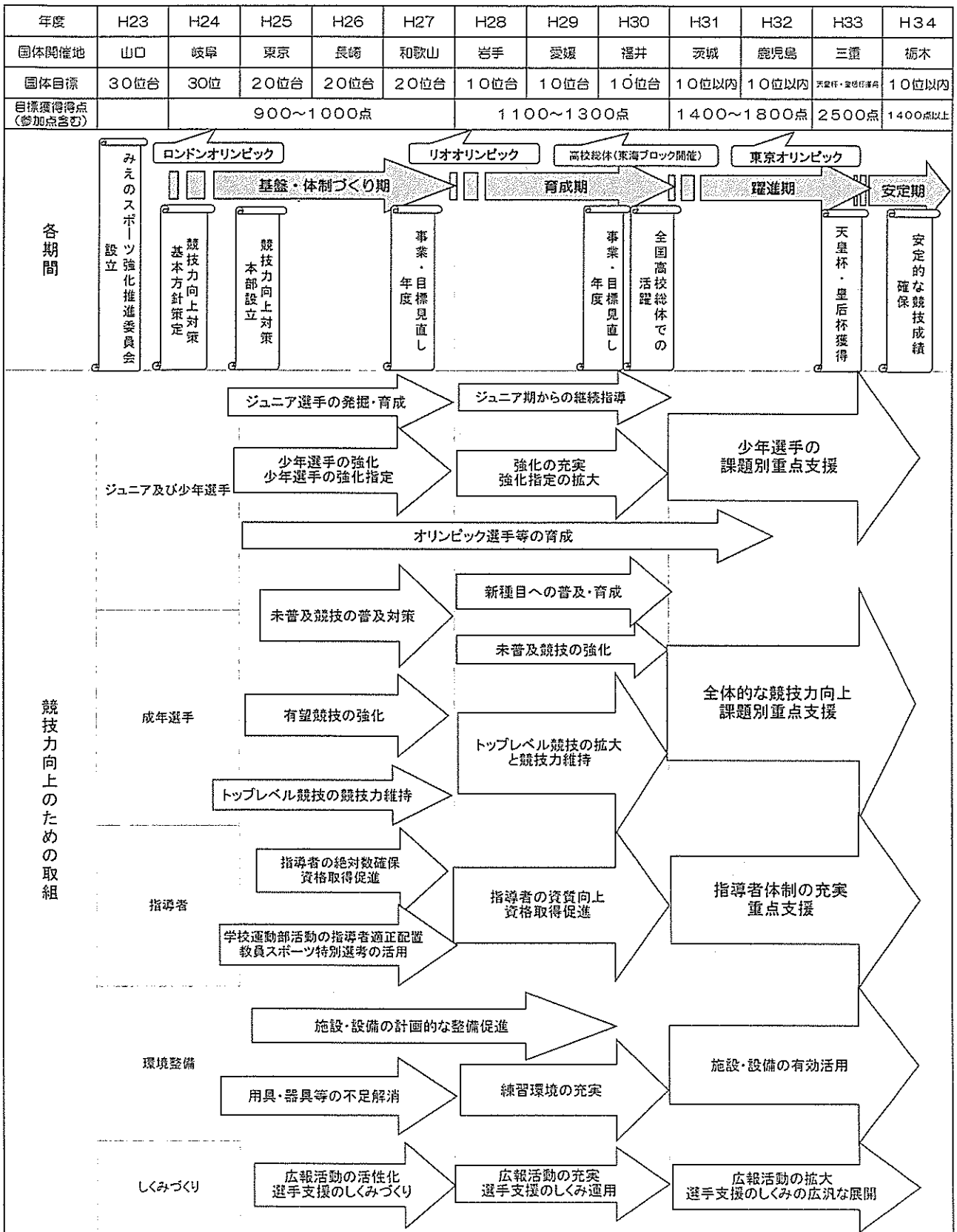
②成年選手の育成・強化（資料5・7～10）

- ・国民体育大会の成年女子種別で安定した成績を残すことができない。
 - 第70回大会の団体競技を除くと、団体競技・個人競技ともに競技得点は、低位である。
- ・団体競技における中核となるべきチームの競技力が低位である。
 - 県内には、全国大会での活躍を目指して設立されたチームが少ない。
 - 全国大会で活躍する指導者及び選手を獲得できていない。

課題

- ⇒団体競技における中核的なチームの設立
- ⇒全国大会で活躍する指導者及び選手の確保
- ⇒競技団体及び強化指定運動部への強化支援の方法

三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画



国民体育大会における天皇杯順位の推移

第68回東京		
順	都道府県名	得点合計
1	東京	3486.0
2	大阪	1839.5
3	埼玉	1813.5
4	愛知	1811.0
5	岐阜	1681.0
6	神奈川	1617.83
7	千葉	1524.5
8	福岡	1410.0
9	北海道	1330.5
10	長崎	1219.5
11	京都	1197.0
12	兵庫	1183.0
13	栃木	1037.25
14	群馬	1036.5
15	広島	1036.0
16	岡山	1023.25
17	長野	1002.5
18	和歌山	990.5
19	山形	974.5
20	静岡	968.75
21	宮城	955.0
22	大分	944.0
23	岩手	943.0
24	福井	938.0
25	新潟	935.5
26	愛媛	932.75
27	熊本	923.5
28	石川	903.0
29	茨城	886.5
30	香川	880.0
31	山梨	856.5
32	山口	848.5
33	富山	842.5
34	青森	840.0
35	福島	816.5
36	鹿児島	815.5
37	奈良	787.0
38	宮崎	778.0
39	秋田	774.5
40	滋賀	763.83
41	三重	745.0
42	高知	721.5
43	沖縄	719.5
44	佐賀	651.0
45	鳥取	620.0
46	島根	575.83
47	徳島	536.5

第69回長崎		
順	都道府県名	得点合計
1	長崎	2,364.0
2	東京	2,113.5
3	愛知	1,886.5
4	大阪	1,807.5
5	埼玉	1,702.5
6	神奈川	1,649.5
7	福岡	1,509.5
8	北海道	1,484.5
9	岐阜	1,439.5
10	千葉	1,394.0
11	兵庫	1,314.0
12	京都	1,222.5
13	岡山	1,195.5
14	群馬	1,139.0
15	和歌山	1,063.0
16	石川	1,027.5
17	福井	1,018.5
18	広島	1,012.5
19	宮崎	1,001.0
20	長野	997.0
21	愛媛	984.5
22	山口	971.5
23	栃木	966.5
24	熊本	935.0
25	宮城	934.0
26	静岡	917.0
27	鹿児島	897.5
28	大分	896.0
29	山梨	892.0
30	山形	870.0
31	茨城	852.5
32	三重	834.0
33	富山	830.5
34	福島	823.0
35	滋賀	810.5
35	奈良	810.5
37	岩手	807.5
38	鳥取	790.0
39	佐賀	783.0
40	新潟	780.0
41	香川	779.5
42	秋田	769.0
43	青森	758.5
44	沖縄	726.0
45	島根	555.0
46	徳島	550.0
47	高知	539.0

第70回和歌山		
順	都道府県名	得点合計
1	和歌山	2,257.0
2	東京	2,052.5
3	愛知	1,977.5
4	埼玉	1,904.5
5	大阪	1,806.5
6	神奈川	1,626.0
7	千葉	1,528.5
8	福岡	1,519.5
9	北海道	1,393.0
10	京都	1,293.5
11	岡山	1,222.5
12	兵庫	1,215.5
13	愛媛	1,203.5
14	長野	1,150.5
15	岐阜	1,130.5
16	岩手	1,099.0
17	長崎	1,070.5
18	熊本	1,038.5
19	栃木	1,029.0
20	静岡	1,015.5
21	広島	1,000.5
22	群馬	997.5
23	宮城	956.5
24	滋賀	940.0
25	大分	930.5
26	福井	920.5
27	三重	918.0
28	山口	904.5
29	石川	887.0
30	香川	879.0
31	福島	866.0
32	茨城	839.0
33	奈良	834.5
34	山梨	818.5
35	富山	807.0
35	山形	801.5
37	鹿児島	799.5
38	秋田	774.5
39	新潟	767.0
40	青森	722.5
40	鳥取	722.5
42	宮崎	707.5
43	佐賀	687.5
44	島根	648.5
45	沖縄	633.0
46	徳島	605.5
47	高知	576.5

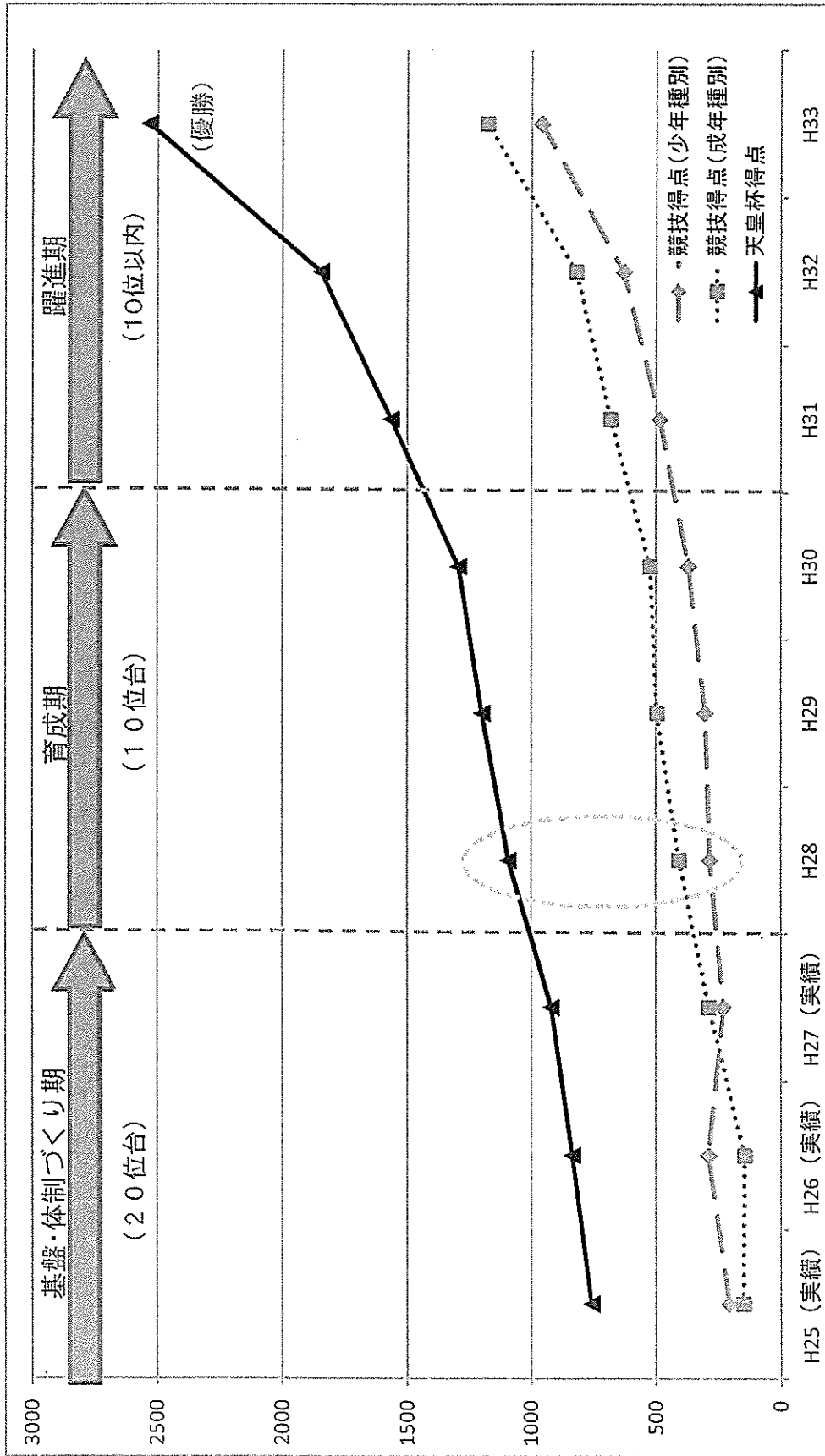
国民体育大会における皇后杯順位の推移

第68回東京		
順	都道府県名	得点合計
1	東京	1622.0
2	大阪	883.5
3	岐阜	840.0
4	埼玉	835.5
5	千葉	834.5
6	愛知	822.0
7	神奈川	725.5
8	福岡	721.0
9	兵庫	682.5
10	北海道	670.0
11	群馬	602.0
12	広島	599.0
13	長崎	594.0
14	栃木	584.5
15	愛媛	571.0
16	長野	529.5
17	山梨	526.0
18	新潟	525.5
19	京都	519.5
20	熊本	517.5
21	静岡	516.5
22	福井	511.0
23	山形	508.5
24	宮城	493.5
25	山口	490.5
26	和歌山	490.0
27	岩手	483.0
28	滋賀	477.0
29	大分	469.5
30	鹿児島	462.0
30	富山	458.0
32	香川	452.0
33	岡山	447.5
34	福島	445.0
35	石川	442.5
36	青森	434.0
37	茨城	421.5
38	佐賀	397.0
39	三重	383.5
40	高知	382.0
41	宮崎	377.5
42	秋田	371.5
43	奈良	365.5
44	鳥取	360.5
45	沖縄	347.0
46	徳島	341.5
47	島根	332.0

第69回長崎		
順	都道府県名	得点合計
1	東京	1118.5
2	長崎	1076.5
3	愛知	1024.0
4	大阪	919.0
5	岐阜	825.0
6	千葉	818.5
7	北海道	763.0
8	兵庫	752.5
9	神奈川	693.0
10	埼玉	662.0
11	福岡	642.5
12	愛媛	622.5
13	群馬	607.0
14	広島	568.5
15	熊本	555.0
16	山梨	552.5
17	岡山	546.5
18	京都	545.5
19	和歌山	543.5
20	栃木	540.0
21	静岡	526.5
22	長野	500.5
23	宮城	495.5
24	奈良	486.5
25	佐賀	484.0
26	鹿児島	480.5
27	山口	476.5
28	富山	475.5
29	福島	471.5
30	石川	468.5
30	鳥取	458.5
32	山形	453.5
33	岩手	450.0
34	福井	449.5
34	滋賀	449.5
36	大分	445.0
37	茨城	441.5
38	三重	438.0
39	新潟	425.0
40	秋田	420.0
41	宮崎	414.5
42	香川	402.0
43	青森	383.0
44	島根	367.0
45	沖縄	360.5
46	徳島	331.0
47	高知	315.5

第70回和歌山		
順	都道府県名	得点合計
1	東京	1121.0
2	和歌山	999.5
3	大阪	963.5
4	愛知	942.5
5	埼玉	803.0
6	千葉	749.5
7	神奈川	729.5
8	兵庫	694.5
9	北海道	670.5
10	愛媛	665.0
11	岐阜	658.0
12	福岡	625.0
13	広島	624.5
14	静岡	610.5
15	岡山	608.5
16	岩手	598.0
16	長野	598.0
18	京都	597.0
19	群馬	569.0
20	長崎	547.5
21	熊本	542.0
22	宮城	537.0
23	三重	502.0
24	福井	500.5
25	茨城	488.5
26	滋賀	486.0
27	山口	470.5
28	大分	468.5
29	山梨	459.5
30	鳥取	459.0
31	栃木	454.5
32	佐賀	440.0
33	鹿児島	437.0
34	香川	433.5
35	福島	430.5
36	石川	430.0
37	富山	425.0
38	秋田	414.0
39	山形	410.5
40	新潟	405.5
41	徳島	367.5
42	沖縄	356.0
43	青森	354.0
44	島根	347.0
45	高知	340.0
46	奈良	337.0
47	宮崎	334.5

国民体育大会における目標天皇杯得点



目標天皇杯得点

	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29	H30	H31	H32	H33
競技得点(少年種別)	206.0	289.5	230.0	284.0	302.0	370.5	484.0	627.5	956.0
競技得点(成年種別)	149.0	144.5	288.0	407.5	495.5	523.0	680.5	817.5	1175.5
参加得点	400	400	400	400	400	400	400	400	400
天皇杯得点	755.0	834.0	918.0	1091.5	1197.5	1293.5	1564.5	1845.0	2531.5

国民体育大会における総合順位及び競技得点の推移

【総合順位】

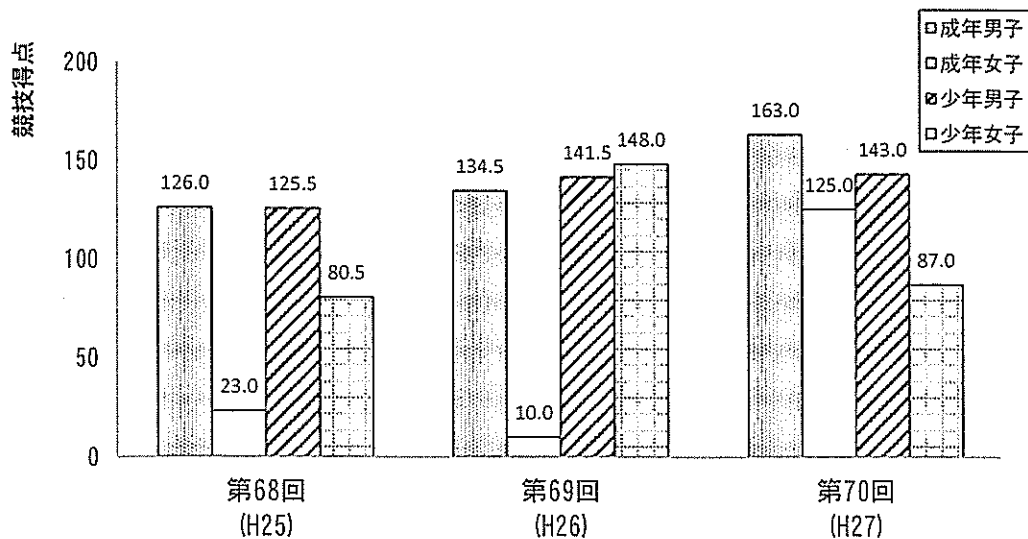
	第68回 (H25東京)	第69回 (H26長崎)	第70回 (H27和歌山)
天皇杯順位	41	32	27
皇后杯順位	39	38	23

【成年種別・競技得点】

		第68回	第69回	第70回
成年男子	団体	59.5	51.0	67.0
	個人	66.5	83.5	96.0
	小計	126.0	134.5	163.0
成年女子	団体	3.0	0.0	94.0
	個人	20.0	10.0	31.0
	小計	23.0	10.0	125.0
計（参加点除く）		149.0	144.5	288.0

【少年種別・競技得点】

		第68回	第69回	第70回
少年男子	団体	47.0	33.0	33.0
	個人	78.5	108.5	110.0
	小計	125.5	141.5	143.0
少年女子	団体	65.0	139.0	75.0
	個人	15.5	9.0	12.0
	小計	80.5	148.0	87.0
計（参加点除く）		206.0	289.5	230.0



国民体育大会における競技得点の推移

全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会に係る入賞数の推移

全国中学校体育大会

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入賞数	17	11	9	13
強化指定部入賞数	—	2	4	3

※中学校運動部強化指定事業は、平成26年度より実施しています。

【参考】

指定部数	—	4	14	13
------	---	---	----	----

全国高等学校総合体育大会

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入賞数	34	50	46	47
強化指定部入賞数	21	30	32	34
入賞数（特A／S）			20	15
入賞数（A）	21	27	9	11
入賞数（B）		3	3	8

※高等学校運動部強化指定事業は、平成24年度より実施しています。

【参考】

強化指定部数	21	54	66	71
特A／S	—	—	9	9
A	—	13	7	13
B	—	41	50	49

大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業に係る国民体育大会の入賞実績

【A強化指定】

	チーム名	競技名	H25	H26	H27
1	伊賀FCくノ一	サッカー			優勝
2	相好体操クラブ	体操	4位	6位	6位
3	北勢ライディングファーム	馬術			2位、4位

【B強化指定】

	チーム名	競技名	H25	H26	H27
4	三重バイオレットアイリス	ハンドボール			
5	NTN陸上競技部	陸上競技		5位	
6	エクセディ卓球部	卓球			
7	三重県警察（柔道）	柔道			5位
8	AGF陸上競技部	陸上競技			優勝
9	名張乗馬クラブ	馬術			優勝×2
10	三重県警察（射撃）	射撃			
11	PEARLS	ラグビーフットボール			

【C強化指定】

	チーム名	競技名	H25	H26	H27
12	三重県警察（剣道）	剣道			
13	クレイン東海	馬術			
14	皇學館大学（柔道）	柔道			
15	株式会社安永弓道部	弓道			

【特別指定1】

	チーム名	競技名	H25	H26	H27
16	デンソー女子陸上長距離部	陸上競技			

／：強化指定対象外

トップアスリート就職支援事業の進捗状況

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートに対し、県内企業への就職支援を行い、三重とこわか国体において天皇杯・皇后杯を獲得するとともに、大会終了後も安定した競技力を確保するという事業趣旨を県内企業や競技団体等に説明し、取組を進めています。

【県内企業への取組】

三重とこわか国体に向けた成年選手強化に係る取組及び長期ビジョンを説明し、トップアスリートの採用依頼を行っています。

【競技団体への取組】

事業趣旨及び取組内容を説明し、三重とこわか国体で三重県代表選手として活躍が期待できるトップアスリートを推薦していただけるよう依頼を行っています。

【求人登録数及び求職登録数等】

平成28年度における本事業の取組状況は、以下のとおりです。

求人登録数	93
求職登録依頼数	35
求職登録数	3
内定数	1

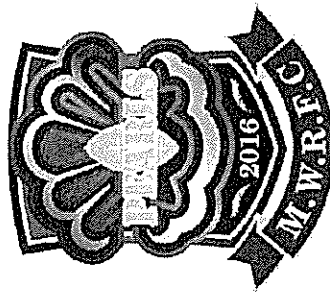
(平成28年9月14日現在)

【今後の取組】

競技団体に対し、三重とこわか国体に向けた戦力分析を依頼し、同大会での活躍が期待できるトップアスリートを推薦していただけるように取組を進めるとともに、マッチングについての取組も進めていきます。

Mie women's rugby football club “ PEARLS”

2016.4-2017.3 TEAM PROFILE



私たちPEARLS(パールズ)は
ラグビーを通して真珠のように世界中から注目され、
優しく強い日本女性でありたいという強い志を持って、

2021年三重国体での日本一と
日本代表として世界の舞台で活躍できる女子ラグビー選手を目指します。



Mie women's rugby football club "PEARLS"

設立目的

昨年のラグビーワールドカップでは、日本代表が強豪・南アフリカを破り3勝を挙げる歴史的快挙を成し遂げ、7人制ラグビーは男女共にリオデジャネイロ五輪出場を決めるなど、ラグビーが国民的スポーツとして多くの注目を集めるようになりました。

女子7人制ラグビーの日本代表は、サクラセブンスという愛称で親しまれ、今年にはワールドシリーズ(世界大会)のコアチームに昇格し、世界の強豪国と鏖を削りました。オリンピックや国体でも正式種目となり、全国で急速に女子ラグビーの普及強化の取り組みが行われ始めています。

私たちはこのような背景の中、「From MIE to the WORLD」をスローガンに、2021年地元開催となる「三重とこわか国体」の優勝を目標に、女子ラグビーチーム「PEARLS」(パールズ)を設立しました。

活動理念

- ①青少年の健全育成
ラグビーを通じたスポーツコミュニティを醸成し、青少年の健全な発育に寄与します。
- ②地域密着
トップチームからアカデミーまで広く愛されるチームを目指し、東海エリアを代表するチームとして地域貢献活動にも力を入れていきます。
- ③世界水準
トップチームは世界レベルの選手を育成・採用し、国内大会での優勝はもちろん、世界大会に出場する日本代表へ選手を輩出します。

活動拠点

- 事務局………三重県四日市市久保田二丁目11番6号
TEL&FAX 059-351-1818
- 活動日………火曜日～金曜日 18:00～20:00
週末 試合
- 活動場所………三重県立朝明高等学校ラグビー場
三重県立四日市工業高校ラグビー場
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 ほか

スタッフ

- 名譽顧問/鈴木 英敬(三重県知事)
- 顧問/石垣 英一(三重県副知事)
- アンバサダー/吉川 ゆうみ(参議院議員)
- 代表理事/中岡 昭彦(三重県ラグビー協会会長)
- GM/齋藤 久(三重県ラグビー協会 強化委員長)
- トップチームコーチ/記虎 敏和(啓光学園(現・常翔啓光学園)元監督)
- ジュニアチームコーチ/伊藤 栄紀(三重県立朝明高等学校女子ラグビー部監督)
- クラブキャプテン/伊藤 絵美(7人制、15人制元日本代表)
- バイスキャプテン/大島 千佳(7人制・15人制元日本代表)
- 山本 さやか(15人制日本代表)

チームメンバー

- 小学生/2名、中学生/4名、高校生/9名、一般/15名
- 《主な代表経験選手》
- 伊藤 絵美 7人制・15人制日本代表(2011～2015)
- 大島 千佳 7人制・15人制日本代表(2010～2013)
- 山本 さやか 15人制日本代表(2006～2016)
- 齋藤 聖奈 7人制・15人制日本代表(2011～2016)
- 林 明里 15人制日本代表(2013、2014)
- 山中 侑香 15人制日本代表(2013、2014)
- 玉井 希絵 15人制関西代表

年間活動計画(2016シーズン)

- 6月25・26日 ビリカモシリセブンス シールド優勝
- 7月2・3日 北見オホーツクセブンス 準優勝
- 7月4～7日 チーム合宿 @北海道遠軽
- 7月17・18日 太陽生命ウイメンズセブンスシリーズ 入替戦 @横浜
- 8月3～6日 チーム合宿 @菅平
- 8月20日 国体東海ブロック大会(7人制) 東海1で本国体出場
- 10月6・7日 岩手国体(7人制) @岩手県釜石市



Mie women's rugby football club "PEARLS"

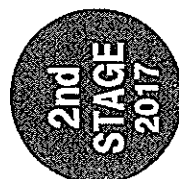
クラブの目標

女子ラグビーの裾野を広げる普及活動から世界で活躍できる選手の育成・強化まで、地域密着のクラブ組織をベースに、3年後にはトップチームを日本一に戴冠させる。



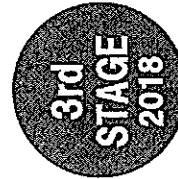
《日本一を狙えるチームの土台づくり》

- ① 国体本戦出場(7人制)
- ② 国内主要大会への出場(7人制・15人制)
- ③ 海外遠征(アジア)



《国内トップ4入り》

- ① 国体3位入賞(7人制)
- ② 7人制主要大会におけるトップ4入り
- ③ 関西大会優勝(15人制)
- ④ 海外遠征(豪州・NZ)



《日本一》

- ① 国体優勝(7人制)
- ② 7人制主要大会における優勝
- ③ 日本選手権優勝(15人制)
- ④ 海外遠征(欧州)

- 2019年 男子ラグビーW杯 日本大会開催
- 2020年 東京オリンピック開催
- 2021年 三重国体開催、女子ラグビーW杯開催

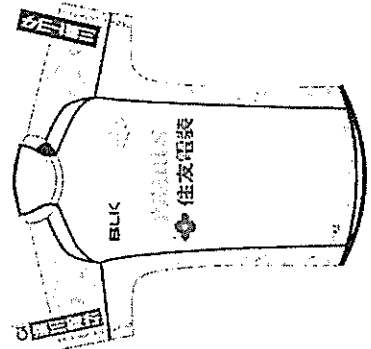
代表へ
選手輩出

年間活動予算(概算)

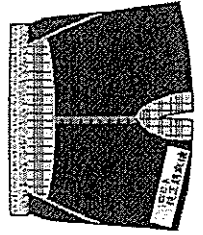
- チーム運営費……………8,000,000円
- ・事務局経費、人件費
- ・選手リクルート経費
- ・ホームページ管理、広報費など
- チーム強化費……………25,000,000円
- ・遠征費、試合参加費
- ・合宿費
- ・選手スカウティング費など
- 施設管理運営費……………4,000,000円
- ・グラウンド等使用料
- ・移動用チームバス管理費など
- その他経費……………6,000,000円
- ・ユニホーム、トラックスーツ製作費
- ・練習用具、メデイカル用品費など

【合計】 43,000,000円(税別)

2018公式ユニホーム



- トップパートナー
- ◇ 住友電装 様
 - ◇ 三重トヨタ自動車 様
 - ◇ 第三銀行 様
 - ◇ 九鬼産業 様





Mie women's rugby football club "PEARLS"

メディア出演・掲載要録

■チーム発足発表記者会見／2016年5月17日

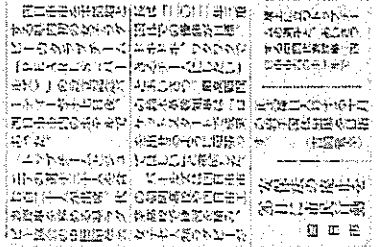
- 【TV】中京テレビ「キャッチ」、三重テレビ「NEWSウイズ」
- 【新聞】朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、中日新聞、伊勢新聞
スポーツニッポン、東京中日スポーツ、中日スポーツ
【ラジオ】FM三重 【雑誌】ラグビーマガジン

■設立記念パーティー／2016年6月17日

- 【TV】三重テレビ「NEWSウイズ」、CTV
- 【新聞】中日新聞、伊勢新聞
- 【ラジオ】FM三重



「三重国体で優勝」 女子ラグビー「PEARLS」 四日市で設立パーティー



■伊藤絵美

- 【TV】NHK津「ほっとイブニングみえ」 2016年6月
- 三重TV「とってむわくどき」 2016年6月
- メーテレ「UP」 2015年12月
- 【ラジオ】CBCラジオ「丹野みどりのよりどりっ！」 2016年6月
- 東海ラジオ「吟ちゃんのみんなにエール！」 2016年6月
- 東海ラジオ「矢野きよ実の朝は矢野流」 2016年5月
- FM三重「みえすぽ！」 2016年5月

【WEB】

- 産経WEST 2015年11月 掲載
- スポーツこころのプロジェクト「夢先生」 掲載

■大島千佳

- 【TV】フジテレビ「すぽると！GOLD」 2015年6月
- 毎日放送「ちんぷいぷい」 2014年11月
- フジテレビ「ラグジュアラスの軌」 2014年5月

■齊藤聖奈

- 【TV】NHK津「ほっとイブニングみえ」 2016年6月

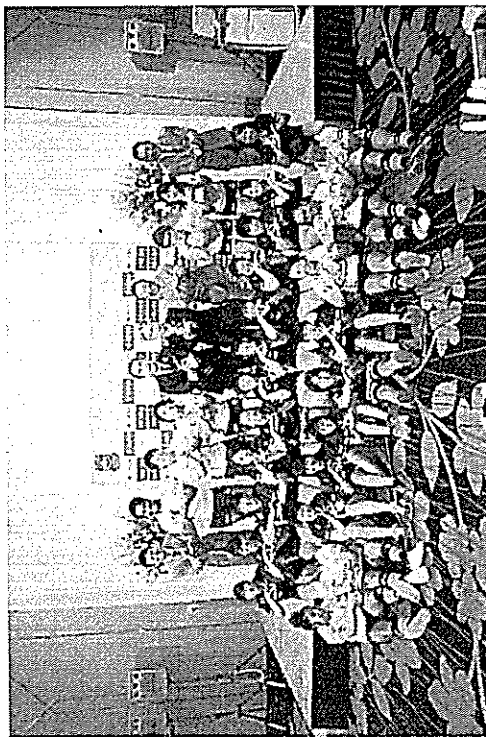
■記虎敏和ヘッドコーチ

- 【新聞】朝日新聞夕刊 大阪本社版「スポーツ好奇心」 2016年6月
- 中日新聞朝刊 本版「この人」 2016年7月



Mie women's rugby football club "PEARLS"

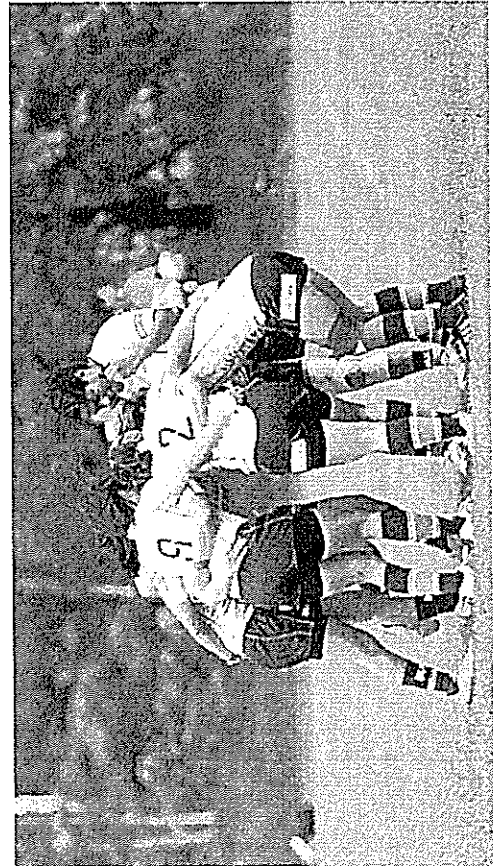
写真ギャラリー



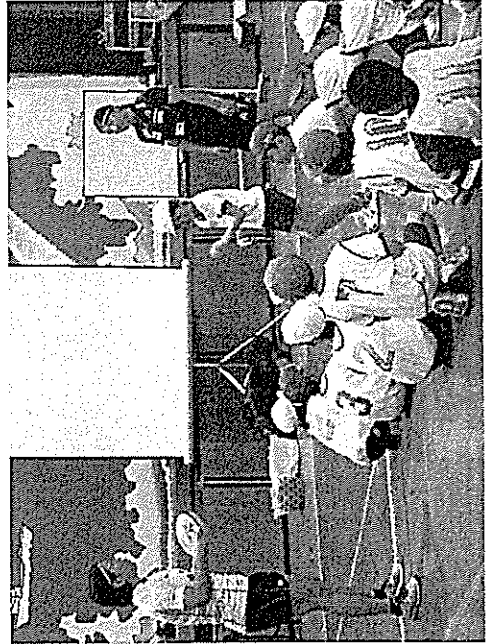
設立記念パーティー集合写真



ジュニアとの合同練習



トップチーム試合写真

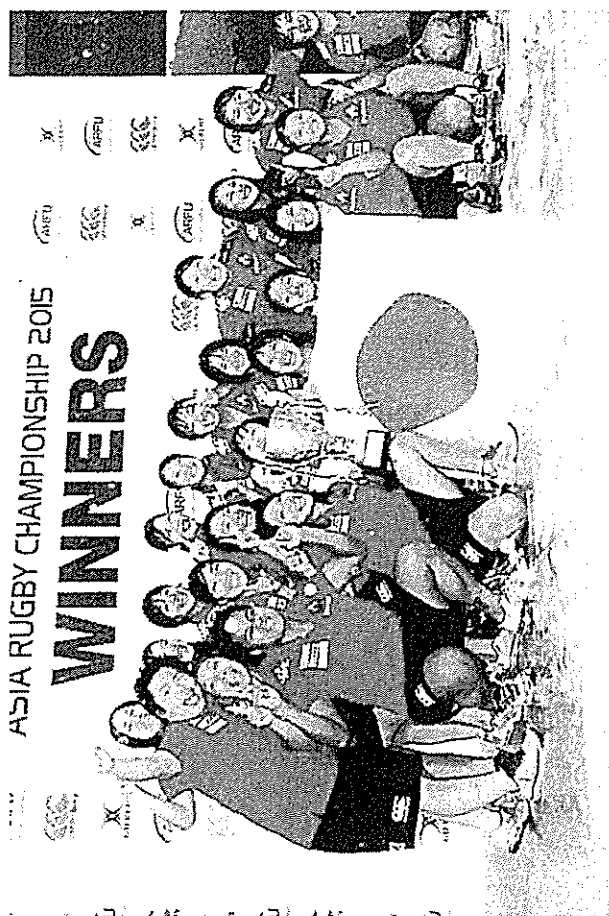


神島小学校特別授業

Mie women's rugby football club "PEARLS"



写真ギャラリー



《お問い合わせ先》

一般社団法人PEARLS
 プロジェクトマネージャー 飯田 倫大(Tomohiro Iida)
 〒510-0821 三重県四日市市久保田二丁目11番6号
 TEL & FAX 059-351-1818
 iPhone 080-9110-1870
 Email t.iida@eiwa.jp.com

PEARLSオフィシャルサイト <http://mie-pearls.com/>

特別コーチ派遣事業に係るこれまでの取組及び成果

【平成26年】

	申請団体	特別コーチ	対象種別	結果
1	三重県バドミントン協会	小椋 久美子 北京オリンピック 日本代表選手 (5位入賞)	少年男女	0
2	三重県なぎなた連盟	中村 ゆり子 全日本なぎなた連盟 範士	全種別	0
3	(一社) 三重県水泳連盟	草薙 健太 中京大学水泳部 コーチ	全種別	28.5
4	三重県ウエイトリフティング協会	平井 一正 モントリオールオリンピック 日本代表選手 (3位入賞)	少年男子	61
5	三重県ソフトボール協会	宇津木 妙子 シドニーオリンピック 日本代表監督 (2位入賞) アテネオリンピック 日本代表監督 (3位入賞) 増淵 まり子 シドニーオリンピック 日本代表選手 (2位入賞)	少年女子	0

89.5

【平成27年】

	申請団体	特別コーチ	対象種別	結果
1	三重県ウエイトリフティング協会	三宅 宏実 ロンドンオリンピック 日本代表選手 (2位入賞)	成年男子 少年男子	66
2	(一財) 三重陸上競技協会	岩崎 由純 日本コアコンディショニング協会 会長	全種別	46
3	三重県ソフトテニス連盟	高川 経生 全日本選手権大会 優勝 (9回)	少年男女	35
4	三重県レスリング協会	湯元進一 北京オリンピック 日本代表選手 (3位入賞)	全種別	32.5
5	三重県テニス協会	福井 烈 全日本テニス選手権大会 シングルス7回優勝	少年男女	18
6	三重県ソフトボール協会	増淵 まり子 シドニーオリンピック 日本代表選手 (2位入賞)	少年女子	0
7	三重県なぎなた連盟	中村 ゆり子 全日本なぎなた連盟 範士	全種別	0
8	三重県ボウリング連盟	下地 賀寿守 (公財) 全日本ボウリング協会 ナショナルチームコーチ	全種別	25
9	三重県スキー連盟	富井 剛志 アルペールビルオリンピック・長野オリンピック 日本代表選手	全種別	3
10	三重県バドミントン協会	小椋 久美子 北京オリンピック 日本代表選手 (5位入賞)	少年男女	0

225.5

【平成28年】

年間コーチ

	申請団体	特別コーチ	対象種別	結果
1	三重県軟式野球連盟	中村 順司 PL学園野球部 元監督	成年男子	
2	三重県クレール射撃協会	鈴木 哲夫 メキシコナショナルチーム 元コーチ	成年	

ワンポイントコーチ

	申請団体	特別コーチ	対象種別	結果
1	三重県ソフトボール協会	増淵まり子 シドニーオリンピック 日本代表選手 (2位入賞)	少年女子	
2	三重県テニス協会	近藤 大生 全日本テニス選手権 ダブルス 優勝 新井 麻葵 全日本テニス選手権 ダブルス 優勝	全種別	
3	三重県バドミントン協会	小椋 久美子 北京オリンピック 日本代表選手 (5位入賞)	少年男女	
4	三重県スキー連盟	富井 剛志 アルペールビルオリンピック・長野オリンピック 日本代表選手	全種別	
5	三重県空手道連盟	井淵 智 世界空手道選手権大会 組手 優勝	成年男子 少年男子	
6	(一財) 三重陸上競技協会	岩崎 由純 日本コアコンディショニング協会 会長	全種別	
7	三重県なぎなた連盟	中村 ゆり子 全日本なぎなた連盟 範士	全種別	

參考資料

三重県競技力向上対策委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重県競技力向上対策本部規約第11条の規定に基づき、三重県競技力向上対策委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営に必要な事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は、本部会議から付託および委任された専門的な事項について、調査・審議する。

(役員)

第3条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

2 役員は、本部長が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員)

第4条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから本部長が委嘱した委員をもって構成する。

(1) 県関係者

(2) 市町関係者

(3) 産業・経済関係者

(4) 学校・スポーツ団体関係者

(5) 学識経験者

(6) その他本部長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員及び役員の任期は、本会の目的が達成された日までとする。ただし、委員が就任時の所属機関及び団体等の役職を離れた場合、その委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開会できない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長が必要と認めるときは、委員以外に専門的知識を有する者の出席を求め、必要に応じて専門委員会を開催し、意見を聞くことができる。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が本部長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成25年5月29日から施行する。

三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会名簿

(委員長：1名、副委員長：1名、委員：21名、計：23名)

【委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県地域連携部スポーツ推進局長	村木 輝行

【副委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県体育協会理事長	東地 隆司

【委員：20名】敬称略、順不同

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県教育委員会事務局次長	中嶋 中
市町関係	伊勢市産業観光部観光振興課副参事	松葉 清高
	東員町教育委員会事務局社会教育課長	石川 清
産業・経済関係	株式会社エクセディ執行役員管理本部副本部長	山村 佳弘
	株式会社デンソー大安製作所長	堀 誠
	本田技研工業株式会社四輪生産統括部鈴鹿製作所 総務ブロック ブロックリーダー	柳田 雅彦
	相好株式会社代表取締役	山本 将之
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県体育協会強化・普及委員会委員長	浦田 安
	三重県中学校体育連盟理事長	太田 秀樹
	三重県高等学校体育連盟理事長	藤田 隆司
	鈴鹿市立神戸中学校 剣道部顧問	北林奈津子
	県立宇治山田商業高等学校 陸上競技部顧問	小池 弘文
	県立朝明高等学校 レスリング部顧問	橋爪 幸彦
	県立四日市中央工業高等学校 サッカー部顧問	樋口 士郎
	三重高等学校 ソフトテニス部顧問	神崎 公宏
	皇學館大学 柔道部監督	佐藤 武尊
	三重バイオレットアイリス監督	櫛田 亮介
	三重県水泳連盟強化責任者（競泳）	八田 知宏
	三重県ボート協会強化責任者	丸山 亮太
学識経験	社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院院長	加藤 公
	三重大学教育学部教授	杉田 正明



三重とこわか国体

第76回国民体育大会　ときめいて人　かがやいて未来　2021